

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

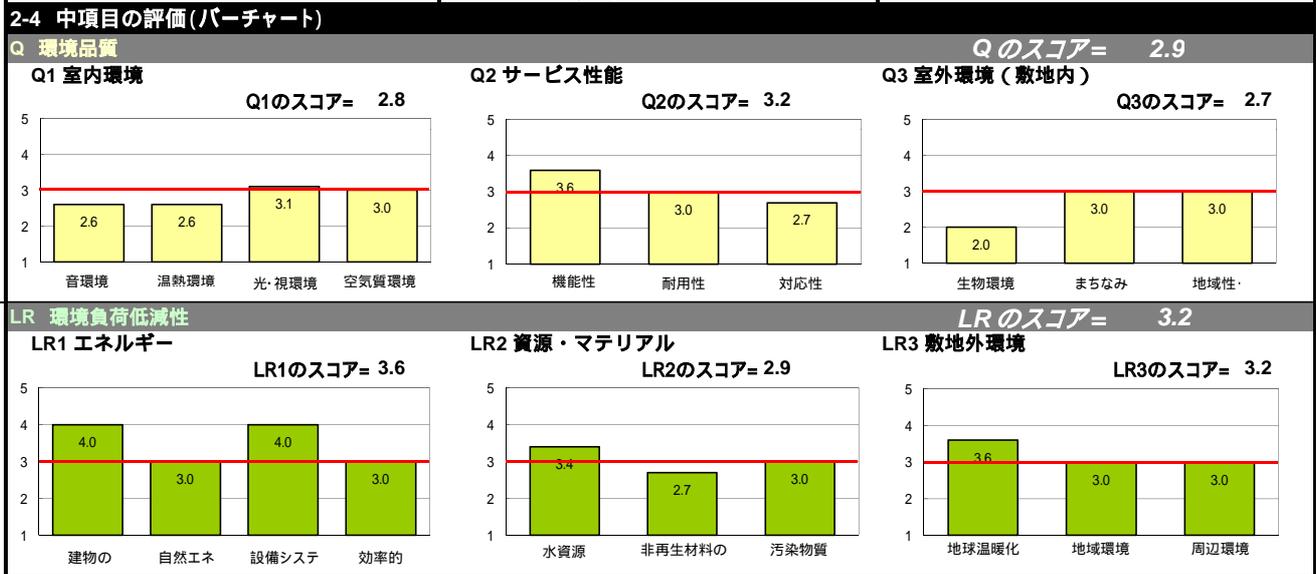
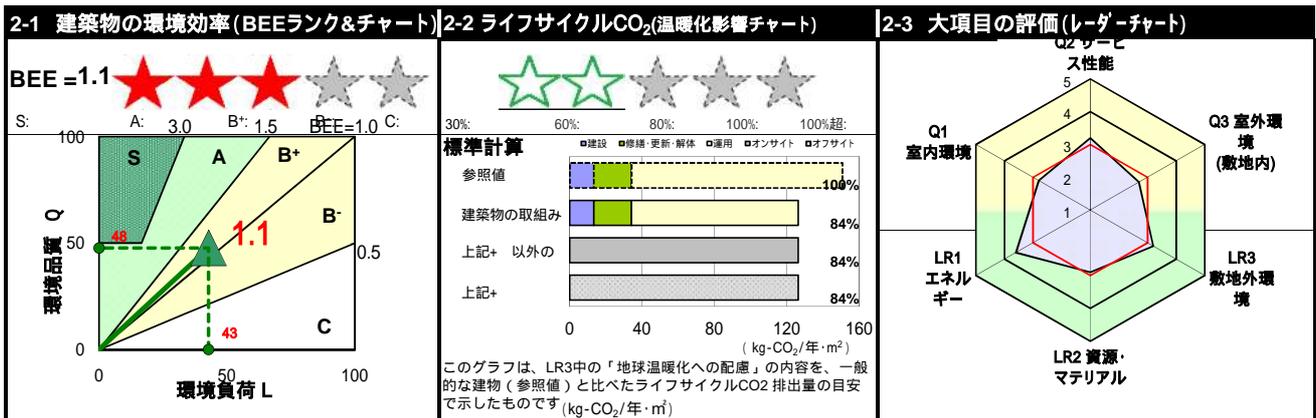
CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和市上和田特別養護老人ホーム	階数	地上3F
建設地	大和市上和田字新道添1021-1の一部外3筆	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	110 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2014年12月24日
敷地面積	4,418 m ²	作成者	株式会社奥野設計
建築面積	1,723 m ²	確認日	2014年12月24日
延床面積	4,418 m ²	確認者	株式会社奥野設計

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<p>周辺緑化や周辺インフラ等の配慮を行うことで、建築の内外ともに「アメニティ豊かな環境づくり」をめざす。</p>		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
音環境については標準レベルの性能を満たしている。温熱環境は空調設備により、居室部分の温度差をなくし、快適な室温を保つように配慮。居室には窓を多く取り、明るい空間になっている。	入居者とスタッフの動線を合理的に追求。入居者の移動経路はバリアフリーとなっている。設備の維持管理、将来対応は標準レベルを確保している。	地域交流スペースを設置することで周辺住民も建物を活用できるように配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
屋根、外壁に断熱材を施す。照明ではLED器具を積極的に採用する。	節水型便器を採用することで節水に配慮した。人体への健康や地球環境に配慮した材料を採用するよう心掛けた。	雨水貯留量に余裕をみた計画や分別回収を推進した空間整備を施すことで地域インフラへ配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される